



早宮小だより

運動会を終えて

～子供たちの感想～



1 年

- ・りずむだんすがたのしかったです。
- ・だいすき ともだちのだんすがたのしかったです。
- ・かけっこでいちいになれてうれしかったです。
- ・たまいれでは、いっかいせんはかてたけど、にかいせんはひきわけでおどろきました。
- ・たくさんのだまをいれることができてうれしかったです。
- ・おおだまころがしで、まけそうだったけど、かてたのでよかったです。
- ・おうえんがっせんでこえがからからになるくらいおおきなこえをだしました。
- ・6ねんせいのだしものがすごかったです。ぼくもやってみたいです。



2 年

- ・大玉ころがしで、3回かって、うれしいし、大玉がいっぱいおせてうれしかったです。
- ・かけっこで、さいしょは1いだったけど、ゴールの目のまえで、ぬかされてしまいました。それが、くやしかったです。こんどからはずっと気をぬかないようにしたいとおもいました。
- ・わたしは、エイサーの2ばんのところで、いっしょうけんめいおどりました。エイサーをおどれて、楽しかったです。またやりたいです。
- ・いっばいれんしゅうしたから、かっこよくおどれました。
- ・わたしは、入じょう門で、かっこよく大きなこえで、「イーヤーサーサー」と言いました。



3 年

- ・ぼくは二人三きゃくで、しっかり協力してがんばるということを学ぶことができました。
- ・運動会を通して、前へならえの良いくせが身に付きました。
- ・二人三きゃくの練習のときは、速く走ることができなかったけれど、本番では練習よりも速く走ることができました。練習のときには白に負けてしまいました。本番はみんなで協力をしたので勝つことができました。うれしかったです。
- ・本番ではリズムに合わせ、ひっかからずに縄跳びをすることができました。私は大きな二重円の真ん中で技をやったので、上手に跳べるか心配で、緊張してしまいました。最後のポーズもきれいにできてよかったです。



4 年

- ・一番がんばったのは「台風の目」です。本番では私のチームの人がみんなでジャンプするときにとても速くぼうを動かしてくれました。
- ・「火炎太鼓」では、おどりをまちがえないようにがんばりました。とくに気にしたことは「目線」と「かけ声」です。
- ・5年生の早宮ソーランや6年生の「ROCK～輝き～」はすごく格好良いだけではなく、はく力をとても感じました。
- ・のどがいたくなかったけれど、応援団をしているときはのどを気にしないで応援ができました。
- ・私はプラカードの仕事をがんばりました。いつも朝練習があって大変でした。でも練習をしていたから本番になって立つ位置をまちがえないようにできたのでうれしかったです。



5 年

- ・早宮ソーラン2016は、今までで、一番声が出ていて、昨年の5年生に負けないぐらいの勢いで踊りました。みんなも百点の踊りができたのかなと思いました。
- ・「ドッコイショ、ドッコイショ。」と声を出るところを大きな声で言いました。二重円の後ろで待つところに気をつけながら、踊りました。観客席から大きな拍手をもらったのがうれしかったです。
- ・騎馬戦の最後は、ぼうしを取られてしまったけれど、騎馬の私は、前後どちらもよく見て、バランスを崩さないようにできたので、来年は、上の人からぼうしを取られないようにバランスを取りながら、速く走れるようにしたいです。
- ・6年生がすごく格好良かったので、来年は、「おー。」「わー。」と言ってもらえるようにしたいです。



6 年

- ・赤白リレーでは最下位だったけれど、一つ学んだことがあります。それは、「一生懸命に取り組めばくやしくても笑える」ということです。騎馬戦でも、上で戦っていた友達に負けてしまったけれど、本当に楽しかったと思えました。
- ・最初の壁は倒立でした。毎晩何回も何回も練習すると、できなかったことがうそのようになりまして。運動会の学習を通して、全力でやり切ること、人一倍練習を一生懸命すると成功したときに達成感や満足感が大きいことを学びました。
- ・運動会を終えて、応援団長が無事にできて、自分の中では大成功だと思います。この大成功につながったのは両親のおかげです。家でも応援団の動画を見せてくれたり、応援がきれいに見える秘策を教えてくださいました。骨折していてもできるように手助けしてくれた大好きな両親です。

